

## 都市計画道路戸畑枝光線他街路事業に関する公共事業再評価の結果について (報告)

戸畑枝光線は、都市高速2号線(戸畑出入口)と同5号線(枝光出入口)を直結させるとともに若戸トンネルとも接続し、本市の目指す環状放射型の自動車専用道路ネットワークを構築する路線である。

戸畑枝光線1期及び汐井町牧山海岸線を平成23年度、2期を平成26年度から事業着手しているが、事業費及び事業期間の見直しが必要となったことから、「公共事業評価に関する検討会議(外部評価)」及び「市民意見の聴取」を実施した。この度、これらを踏まえた市の対応方針を報告するもの。

### 1 公共事業評価に関する検討会議(外部評価)の結果

- (1) 実施日：令和3年12月14日(火)
- (2) 評価結果：「変更計画どおり事業継続に異論なし」

### 2 市民意見の聴取結果

- (1) 意見募集期間：令和3年12月20日(月)～令和4年1月19日(水)
- (2) 意見提出状況：提出者数1名、提出意見数2件

### 3 市の対応方針

「変更計画どおり事業継続」

### 4 市民意見の聴取結果及び市の対応方針の公表

閲覧・配布：令和4年2月9日(水)～令和4年5月9日(月)  
ホームページ掲載：令和4年2月9日(水)～令和5年3月31日(金)

**公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応**  
**(対象事業：北九州広域都市計画道路戸畑枝光線他街路事業)**

<b>市の対応方針（案）</b>
事業継続

	<b>公共事業評価に関する 検討会議での意見</b>	<b>市の対応方針（案）</b>
<b>(1) 事業の継続について</b>	広域道路ネットワークの環状化による効果が非常に大きいことや、災害に対するレジリエンスを確保するという点でも <u>事業の継続は妥当</u> と考える。	戸畑枝光線は、円滑な物流・人流の支援、強靱なネットワークの形成などを目的としており、早期の効果発現に向け、引き続き整備を進めてまいりたい。
<b>(2) 事業費の縮減について</b>	大幅に事業費の増額が見込まれるため、 <u>新技術・新工法、既存の汎用品の使用等の工夫をして、事業費の縮減に努めて</u> いただきたい。	新技術・新工法の活用や、安価な既存汎用品の使用など幅広く検討し、コスト縮減に向けた工夫を積み重ねてまいりたい。
<b>(3) 公共事業の着工前における調査・設計について</b>	事業着手前の <u>調査・設計にあたっては、できるだけ詳細に行い、事業費などの見通しが大幅に乖離することがないよう、努めて</u> いただきたい。	新規事業に着手する際の事業費の算定に関しては、可能な限り十分な調査や検討、設計を実施してまいりたい。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方  
 (対象事業：都市計画道路 戸畑枝光線他街路事業)

1 意見募集期間

令和3年12月20日(月)から令和4年1月19日(水)まで

2 意見提出状況

(1) 提出者：1名

電子メール	郵送	F A X	持参
1名	0名	0名	0名

(2) 提出意見数：2件

3 意見の内訳

(1) 事業計画について

<b>意見の概要</b>
『円滑な物流・人流の支援』『強靱なネットワークの形成』は期待できると思案する。
<b>本市の考え方</b>
早期の効果発現に向け、引き続き整備を進めてまいります。
<b>方針・計画への反映</b>
なし。

(2) 事業費の増額について

<b>意見の概要</b>
人件費及び資材費の高騰は理解できるが、 <u>全体事業費約1.5倍増</u> については、 <u>もう少し抑えることができないか。</u>
<b>本市の考え方</b>
事業費の増額について、既に工事に着手している戸畑枝光線1期及び汐井町牧山海岸線は、詳細な調査等による工事の増工や周辺対策の追加を要し見直しが必要となりました。工事未着手の戸畑枝光線2期は、詳細な設計や調査、1期区間の状況を加味しながら再検討した結果、見直しが必要となりました。 今後の <u>コスト削減</u> については、新技術・新工法の活用や安価な既存汎用品の使用等、 <u>幅広く検討</u> を続けてまいります。
<b>方針・計画への反映</b>
今後の参考とする。

## 公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針

### (対象事業：北九州広域都市計画道路戸畑枝光線他街路事業)

#### 【対応方針】

事業継続

#### 【対応方針の理由】

本市では、産業構造の高度化や物流機能の充実・強化を図るため、北九州空港やひびきコンテナターミナルの整備など、様々な物流拠点の整備に取り組んでいる。安定的な物流・人流を確保・活性化するためには、これらの物流拠点や中心市街地を結び、本州や九州各地域との連携を促進する主要幹線道路の整備を進め、広域道路ネットワークの形成を推進する必要がある。

また、大規模災害発生直後において、人員や物資等の緊急輸送活動を確実かつ円滑に実施するためには緊急輸送道路を早急に整備する必要がある。

北九州広域都市計画道路戸畑枝光線は、北九州都市高速道路や若戸トンネル等と一体となることで、我が国のものづくりを牽引する企業が集積する響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区等を結ぶ環状放射型の自動車専用道路ネットワークを形成するもので、戸畑区大字戸畑を起点とし、八幡東区東田五丁目を終点とする延長約4km、4車線、代表幅員 18mの自動車専用道路である。

これまで、戸畑枝光線1期および汐井町牧山海岸線は、平成 23 年度から事業着手し、高架橋やアンダーパスなどの大型構造物の大部分が完成してきている。事業の進捗に合わせてきた詳細な土質調査に基づく地盤改良の増工や、近接する鉄道や建物への対策等により、事業費及び事業期間の見直しが必要となった。

また、平成 26 年度に着手した2期は、今後の本格的な工事着手に向けて、詳細な設計や土質調査を行い、1期の状況を加味しながら事業内容を再検討したところ、大幅な事業費及び事業期間の見直しが必要となった。

これらの見直しにより、全体事業費は 478 億円から 732 億円に 254 億円の増額、事業完了年度は令和 8 年度から令和 15 年度に 7 年延伸となる計画である。

本事業は、前述のとおり高い整備効果が期待できるほか、周辺地域の渋滞緩和、交通安全の確保等、生活環境の向上にも寄与することから、公共事業調整会議(内部評価)における対応方針(案)として『事業継続』を決定した。

続いて実施した「公共事業評価に関する検討会議」(外部有識者会議)では、変更計画のとおり事業を継続することについて、全ての構成員から「異論なし」との意見を受け、併せて今後の事業推進にあたっての留意点が示された。

この結果を受けて募集した市民意見では、事業効果発現の期待や事業費の縮減について今後の参考となる意見が提出された。なお、計画の修正を要する意見は提出されなかった。

以上のことから、変更計画どおり事業を継続することとし、先の留意点及び市民意見を踏まえて、更なるコスト縮減の検討を継続しながら事業推進に努める。

都市計画道路 戸畑枝光線他街路事業の公共事業再評価について（報告） 参考資料

1 概要

戸畑枝光線他街路事業の事業費及び事業期間の変更に伴う公共事業評価の再評価手続きについて、これまでに公共事業調整会議（市の内部評価）を終え、今後、公共事業評価に関する検討会議（外部評価）に諮り、その後、市民意見の聴取（パブリックコメント）の実施を予定している。

2 今後のスケジュール（予定）

令和3年12月14日 公共事業評価に関する検討会議（外部評価）

令和3年12月20日  
～ 令和4年1月19日 市民意見の聴取（パブリックコメント）

令和4年2月下旬 事業変更認可

（参考）令和3年10月21日建設建築委員会報告概要

1 事業内容

路線名	延長		幅員	車線数
戸畑枝光線(1期)	4.4km	2.7km	9.1m～31.0m	4車線
戸畑枝光線(2期)		1.7km		
汐井町牧山海岸線	0.8km		12.0m～25.0m	2車線

2 変更概要

(1) 事業費及び事業期間

路線名	前回 (H30.3)		今回		備考
	事業費	事業期間	事業費	事業期間	
戸畑枝光線(1期)	140億円	H23-R4	165億円	H23-R5	25億円増 1年延伸
戸畑枝光線(2期)	280億円	H26-R8	500億円	H26-R15	220億円増 7年延伸
戸畑枝光線合計	420億円	—	665億円	—	245億円増
汐井町牧山海岸線	58億円	H23-R4	67億円	H23-R6	9億円増 2年延伸
3路線合計	478億円	—	732億円	—	254億円増

(2) 事業費増額と事業期間延伸の主な理由

- ① 軟弱地盤や地下水位等に対する地盤改良や土留め工法の変更
- ② 近接する鉄道や建物等への対応
- ③ 支障物件への対応
- ④ 人件費や資材価格の高騰等による影響
- ⑤ 若戸大橋と都市高速道路間の円滑な交通を維持するための仮設ランプの設置撤去

# 計画平面図

